

## 「広島 Peace Forum」に参加しました！

国際科の2名（2-6 草野和花、宮崎菜々子）は、8月7日に広島女学院中学高等学校で行われた「広島 Peace Forum」に参加してきました。前日に広島に行ったので、フォーラムが始まる前に朝から原爆ドームを訪ねることができ、長崎の平和公園とはまた違う雰囲気を感じることができました。フォーラムには、東京から沖縄まで全国の高校生が集まったほか、ハワイの高校生の発表も聞くことができました。「核問題への対応はいかにして決定されるか」という講演の後、広島女学院高校による核兵器禁止条約の概略説明があり、各担当国ごとの部屋に分かれて「その国を禁止条約に参加させるために、私達に何ができるか」について、プレゼンテーションと話し合いを行い、最後は全体の会場で発表しました。以下は、二人の感想です。



今回のピースフォーラムを通して、今の核兵器についての理解をさらに深めることができました。被爆地である長崎では、当たり前のように平和教育があり、多くの方が核兵器の廃絶を望んでいます。しかし、ふと周りを見渡してみると、「核兵器を落とされた」という事実は知っていても、それを歴史の一部としか捉えていない人は少なくありません。これでは、ただむやみに訴えかけても耳を傾けてもらえません。どのようにして無関心に関心にかえられるか、それが私たちの大きな議題となりました。その話し合いの中で、被爆者の話を聞くことができるアプリがあることなど、初めて聞くようなものもあり、興味深いと感じました。また、私たち高校生は、伝える相手のことを考えた上で、核廃絶を訴えていかななくてはならないのだと思いました。この広島での貴重な経験を今後のSGHの活動などに活かし、さらに平和に対する理解をより深めていきたいと思います。（草野和花）

私たちは8月7日に広島peace forumに参加した。今回のフォーラムは「核兵器禁止条約」についてだった。なぜこの条約が挙げたのか、どの国が賛同したか、しなかったか、といった基礎情報を押さえた上で、賛同しなかった国はなぜ賛同しなかったのか、どのようにしたら賛同するかを納得するまで放課後を使って調べ、そしてパワーポイントにまとめた。そして本番、ゲストスピーカーの方のスピーチ、ハワイの高校と広島女学院のプレゼンがあり、発表する国ごとに部屋に集まった。限られた時間で入念に用意したつもりだったが、他校の生徒の積極性に圧倒された。私が案を出して挙げた反論に、そのつもりで言ったのではないのに、と思うこともあった。知識もちろん、自分の伝えたいことを伝える力が重要だと改めて思った。ここには書き足りない程、今回たくさん学ぶことができ、参加する意義があるフォーラムだった。SGHだけでなく、様々なことに活かそうと思う。（宮崎 菜々子）



自然と食事の時は輪になりました。

参加者で記念撮影しました。

